

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和3年5月25日開催

法人名	NPO 法人 お互いさまネットワーク	代表者	恩田 初男	法人・事業所の特徴	法人として介護保険事業と市民活動を組み合わせ「誰もが安心して生活できる地域」を目指している。 事業所としては認知症の人への支援を特徴としており、日常生活訓練（生活リハビリ）を取り入れ、利用者の精神的な安定を試みている。
事業所名	多機能ケアの喜楽	管理者	亘 智絵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	社内研修を継続していく。	外部研修はコロナ禍のため行えず、職員会議の時に認知症についての学習、感染症対策についての学習を行った。	3/23 の運営推進会議はコロナウイルス拡大防止対策のため開催されず、外部評価かかわりシートの提出のみだったため、意見を聴くことはできなかった。	
B. 事業所のしつらえ・環境	花や植物、作品を飾り、親しみやすい環境作り、居心地の良い空間作りのために、取り組みを継続していく。	花や植物の他利用者の作品や絵などを玄関に飾り、より家族や地域の人が親しみやすい環境づくりに努めた。	同上	
C. 事業所と地域のかかわり	お互いさまだより、HP の活用を継続し、ブログの書きこみなどにより PR に努める。	お互いさまだよりの発行、ブログの書きこみをこまめに行い、わかりやすいと評価をいただいた。	同上	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	イベントを区長、民生委員に告知し来てもらい情報交換を行う。	コロナ禍のためイベントは行えなかった。徘徊する利用者について、本人がよく行くお店の人や、地域の住民や民生委員と連携を取った。	同上	
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取り組みを運営推進会議でわかりやすく説明することを継続していく。事業所内を実際見ていただく機会を作る。	事業所の取り組みを運営推進会議でわかりやすく説明した。コロナ禍のため今年度は事業所見学は行えなかった。	同上	
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する。災害時の対応について理解を深める。	地域の防災訓練に参加することを計画したが、コロナウイルス拡大防止対策のため開催されなかった。災害時の対応については、職員会議時に学習を行った。	同上	